

第4節 環境学習推進施設

4-1 環境学習推進施設の検討

近年、オゾン層の破壊や地球温暖化、熱帯林の減少など地球規模での環境問題がクローズアップされているが、これらは、人間の生活や経済活動に伴う資源やエネルギーの消費の増大などに深く関わっている。

よりよい地球環境を将来の世代に引き継いでいくためには、これまでのライフスタイルを見直し、身近な環境に配慮した行動が必要である。

環境学習推進施設は、環境の保全に関する啓発や、市民の環境保全活動を支援するため、

1. 環境保全に関する情報提供及び相談
2. 環境学習のための情報提供等
3. 本市内の教育機関、研究施設と連携をして、廃棄物リサイクルや環境に関する研究を推進する場の提供

などを行うための施設である。

環境学習推進施設は、環境全般を対象とした施設であるが、その中でも資源やエネルギー消費の増大を抑制するために3Rの推進が重要である。この3Rの推進を行うための要となる施設がリサイクルセンターである。

環境学習推進施設をリサイクルセンターに併設することで、3Rのための施設内容を具体的にみることができ、実体験を通じた意識の高揚が図られることになる。

以降に、本市の環境学習推進施設のあり方についてとりまとめる。

1) 環境学習推進施設に求められる条件

環境学習推進施設を有効に活用するためには、次の条件が必要となる。

- ・市民が興味を持つ内容を備えた施設であること。
- ・市民が主体的に活動を行えるような行政支援体制をとること。
- ・運営に関しての情報が市民に余すことなく伝えられる広報体制をとること。

本市は、県庁所在地として多くの教育機関、研究施設が集積されている特長を生かし、産学官連携による魅力的な環境学習メニューを構築する必要がある。

2) 環境学習推進施設整備のコンセプト

環境学習推進施設をリサイクルセンターの一部として、市民のリサイクル意識を高揚させるとともに、合わせて、広く環境教育の場を提供する目的で整備する場合、次の5つの機能に分類できる。すでに市民エコ活動センターがスタートしているが、この実践を踏まえて検討することとする。

【学習機能】

- ・ごみの減量化、リサイクルなどの学習設備を設置し、学習の場を提供する機能
- ・地球温暖化、自然環境保全、環境に影響を与える化学物質などの環境学習設備を設置し、環境分野の学習の場を提供する。

【体験機能】

- ・リサイクル活動を体験する機能
- ・水辺環境や森林環境などを歩き体験し、学習する。

【情報発信機能】

- ・市民活動の情報発信や情報交換の場を提供する機能

【研究機能】

- ・多くの教育機関、研究施設が集積されている特長を生かし、産学官連携による、廃棄物リサイクルや環境に関する研究を推進する場を提供する。

【市民活動機能】

- ・地域住民や市民団体(環境活動団体、NPO法人)の活動の拠点となる場を提供する。

本市の環境学習推進施設については、これらの機能を満たす整備を行うことをコンセプトとする。

なお、それぞれの機能を満たすメニューの詳細は、津市の社会的、文化的、歴史的背景を十分踏まえて決定するとともに、市民参加型施設であるとの位置付けから、事前に地元住民や市内の市民団体(環境活動団体、NPO法人等)との緊密な連携をとり、設定していくものとする。

また、津市総合計画の中で本市の将来像を「環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都」とし、その実現のため「安心」、「交流」、「元気」の3つの基本理念を掲げている。

さらに、これらの基本理念をもとにまちづくりの目標として「美しい環境と共生するまちづくり」、「安全で安心して暮らせるまちづくり」、「豊かな文化と心を育むまちづくり」、「活力のあるまちづくり」、「参加と協働のまちづくり」の5つの事項を設定している。

これらの基本理念、基本目標を踏まえた環境学習推進施設のコンセプトとして次の事項を掲げた。

- 津市の魅力的な環境資源の、市民及び来館者への周知
- 環境に負荷を与える有害な物質をよく知り、使わず、使わせないための啓発
- 昔から営まれている資源・環境の循環事例の周知と発展的活用の促進
- 子供から大人まで、誰もが参加できるイベント開催の担い手育成
- 環境活動への参加のための充実した情報網の整備

これらの、コンセプトを踏まえ、具体的なプラザ機能を今後検討していくものとするが、参考までに、各プラザ機能のメニューの一例を次に示した。

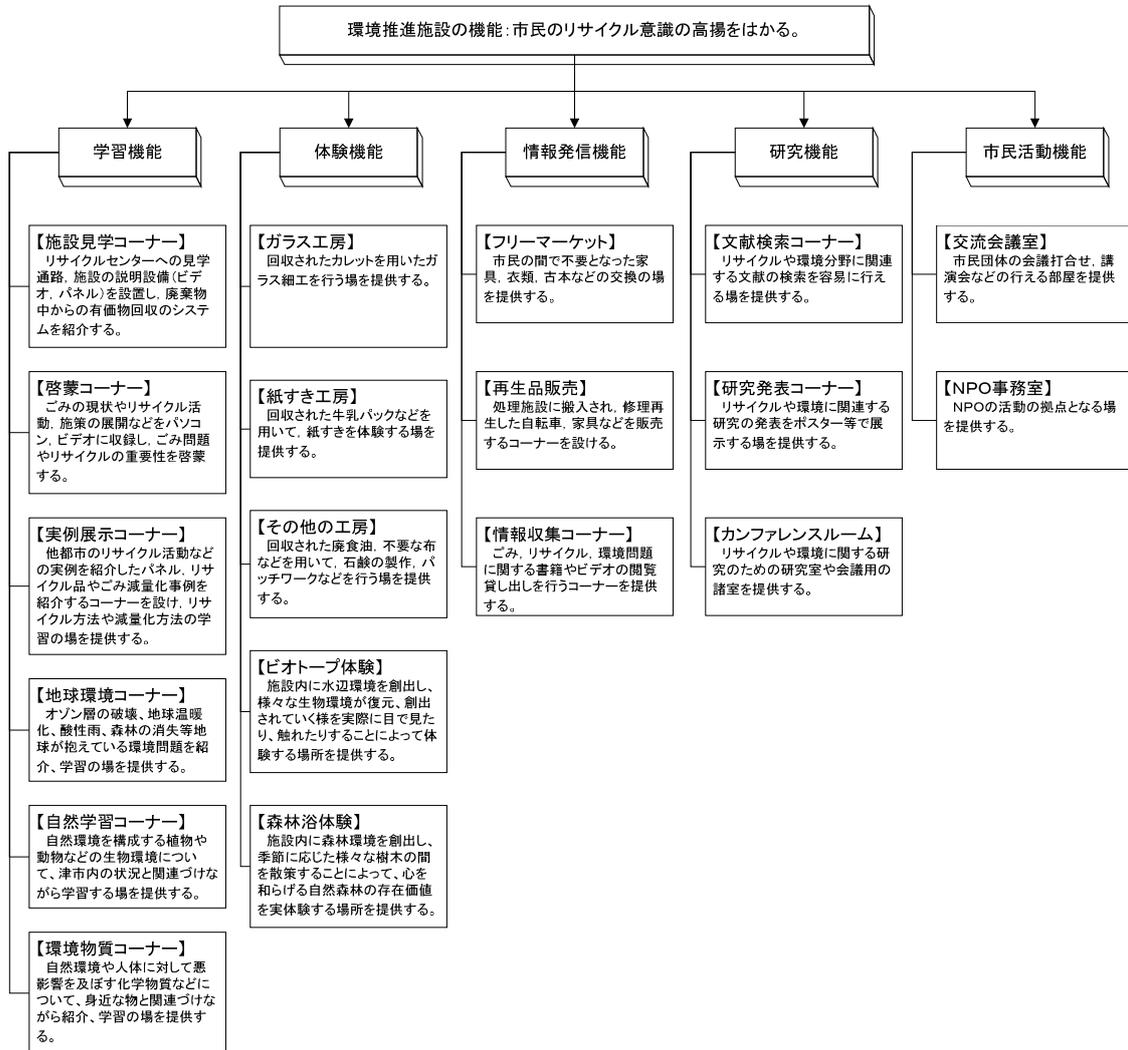


図 3-4-1 環境学習推進施設整備コンセプト（案）